下野コミュニティエフエム第28回放送番組審議会議事録

開催日時：2025年２月13日10時00分より	開催場所：下野市役所第301会議室
出席委員：猪瀬・川俣・鈴木・松本・本橋	┆５名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約し、順不同で記載しています。

委員全５名のうち５名の出席をもって会の成立とし、10時00分に開会した。

１．報告事項

事業者より前回審議会以降の運営報告があった。

・２月12日にＪアラートの全国一斉試験があり、国から市を通して緊急割り込み放送にて告知ラジオの起動試験を行い、完了している。

・市の水道水の件で、市が発表する情報を基に市民に対する情報提供を続けている。

（ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部放送局長）

２．審議事項
■議題①…番組内容について
　事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して各委員が意見を述べた。
※2024年12月22日放送「ＦＭゆうがお開局５周年記念特別」

事業者：
　(番組の説明)

本橋委員：
　まず５周年おめでとうございます。
　今回は７時間の特番の一部ということで、どちらも生放送というのがすごい。
　１つ目の枠ではトークの掛け合いが切れ目なく楽しく聴けた。一方のパーソナリティがトークの端々にダジャレを入れてくるが、「台本なし」と言っていて素晴らしかった。
　２つ目の枠はラジオドラマ型式だが、これも楽めた。
　これだけ素晴らしい番組ができるのであれば、週に１回程度は複数のパーソナリティが掛け合いをする番組があっても良いのではないか。

猪瀬委員：
　多くのパーソナリティが出演しており、こんなに多くのパーソナリティがいたのだなと。
　今回はそれがら一同に会した掛け合いで、アナウンス室の井戸端会議という雰囲気で、シナリオのないお祭りといったことろ。
　公共の電波を使って良いのかというところもあったが、楽しく聴けた。

鈴木委員：
　審議対象は１つめと４つめの枠だったが、他にはどのような企画があったのか。
事業者：
　ＦＭゆうがおのこれまでを振り返る、５周年の「５」にまつわる出来事のランキング、16・17時台は提供枠で、こちらもＦＭゆうがおのこれまでとこれからをトークする番組。

鈴木委員：
　５周年記念とのことだが、それぞれがどのような意図で企画されたのか不明瞭であった。番組の初めに説明のようなものがあっても良かったのではないか。
　番組としては楽しく聴けた。
　１つ目の企画ではこれまでを振り返っていたが、この５年間にも様々なことがあって、個人的には市議会議員選挙の開票速報などがあり、過去を振り返るのも重要と思う。
　また、２つ目のラジオドラマの企画はコミカルで楽しい雰囲気で番組が進んでいたが、その中でもＦＭゆうがおの役割を災害対応やライフラインだけでなく24時間ある安心感や。聴取者との交流などメンタルの面でも十分あるとＰＲされていて良かった。
　５年間を振り返るという意味ではもう少し強くＰＲされても良かったかと思う。
　また、スポンサーが入ったというのも良かった。ＦＭゆうがおにとってもスポンサーは重要であり、他にも行政や一般市民など、それぞれの立場の方が参加できる機会があると期待があった。市長や市の担当者、一般市民も取材などで交えられたら良かったかと思う。

川俣委員：
　飛行機のコンセプトやラジオドラマが面白かった。
　平時でも、市民が週に１回は必ずこれを聴くような番組を作っていただきたい。
　ドラマやコント的なものはキラーコンテンツになる。数分でも定期的に聴けるものを。人数やコストといった事情もあろうがやりくりしてもらって。キラーコンテンツを育てて全国的に売り出すなどできれば良いのではないか。

松本委員長：
　総評としては、各委員非常に面白く聴けたというところ。
　個人的には一番の出来かと思う。
　複数パーソナリティでの番組というところが高評価に繋がったのではないか。
　内容的にもリスナーに喜ばれるものをとのことで、一つの成功例かと思う。コスト的なところもあると思うが、工夫を凝らして一部分だけでも複数のパーソナリティとすれば、より聴いていいただけるのではないか。

■議題②…その他の事項について
・局と市との関係について委員より質問と意見があった。

３．その他
・次回の開催日時を事務局より提示した。

　以上、11時00分に閉会した。